

地域に物知り博士を増やそう！

—めだかの学校—

	代表者	世良香菜美（教育B 2年）
構成員	奥原有子（経済B 2年）山中清道（経済B 2年）三戸千明（経済B 2年）	
	砂田夏希（人文B 2年）末次美琴（教育B 2年）	
	竹下幸恵（経済B 2年）木原綾華（経済B 2年）	
	矢野北斗（経済B 4年）山根拓也（経済B 4年）	
	宮木啓太（医学B 4年）高橋良嘉（農学B 4年）	
	佐藤颯音（農学B 4年）前田亮司（教育B 4年）	
	高木茜（教育M 2年）森あかり（理学B 1年）	
	神河裕未（教育B 1年）鈴木富之（工学B 1年）	
	河村忍（経済B 1年）諸見里樹（経済B 1年）	
	石田結花（人文B 1年）小林遼（教育B 1年）	
	大坪悟（経済B 1年）仁熊七海（医学B 1年）	
	藤勝佳菜（理学B 1年）山田直樹（経済B 1年）	
	竹内義博（工学B 1年）鳥越祐樹（工学B 1年）	
	恵美拓也（医学B 1年）小松原梓（工学B 1年）	
	田村理沙子（人文B 1年）月野江理香（教育B 1年）	
	前田智司（経済B 1年）	

1. プロジェクトの内容

1-1 平川小学校の子どもを対象とした活動

●5月19日・・・子どもイベント（ちぎり絵作成）

子どもたちに一から作ってもらうことの難しさを体験しました。大学生でプレを行った際は、アイデアなどすぐに出てきて個性豊かなものが作られていたので安心していましたが、小学生には、難しかったようです。見本と同じものを作る子、ちぎり絵をせず絵を描く子もいたので次からはちぎり絵用の絵を用意して、子どもたちに塗り絵のような感覚でちぎり絵をしてもらおうと思いました。

1-2 平川地域・その他の地域行事への参加

●5月8日・・・平川地域教育育成部会会議出席

平川地域の教育に携わる方々の会議に参加させていただきました。子どもたちの現状、子ども会の現状、学校での取り組みや地域での取り組みなどを学び、それらをこれからの活動に役立てることができると感じました。

●5月25日・・・防府市ケーキ屋イベント

防府のケーキ屋で、子どもを対象とした小麦粉粘土教室をしました。小麦粉粘土を作り、ショーケースに並ぶケーキを作りました。

●6月1日・・・チャレンジ教室（魚釣り）

天候が悪く、魚がなかなか釣れませんでした。子どもたちも魚が釣れないため、飽きてきており早めに切り上げました。子どもたちが魚釣りをを行う場所に、草がたくさん生えていたことが気になりました。秋のチャレンジ教室で行う芋ほり用の芋の苗植えも行いました。

●6月5日・・・平川地域教育育成部会会議2回目

●7月13日・・・チャレンジ教室（ウォークラリー）

めだかの学校が運営を任され、ウォークラリーを行いました。当日は、子どもが1人遅刻してきて班に入りにくくなってしまったこと、子どもの携帯電話が行方不明になったこと（すぐ見つかりました）、クイズのチェックポイントがずれてしまったことなどありましたが、子どもたちからは、楽しかったという声を聞くことができました。今回なかなかプレができず、準備もギリギリとなってしまう事前準備・プレの必要性を感じました。



子どもイベント（ちぎり絵作成）



チャレンジ教室（ウォークラリー）

●8月3日・・・小石拾い

萩の海岸で、アートふる山口で使う小石を拾いました。小石にお絵かきをするための小石で、アートふるの担当の方と共に行いました。海辺を何回も往復して様々な形や大きさの石を見つけ子どもたちにはどのようなものに見えるのだろうかと考えながら石を拾いました。

●9月8日・・・一の坂川清掃活動

9月15日に開催されるリバーナイトに備えて、一の坂川周辺の清掃を行いました。草ひきや川の周辺の草を刈り取る作業を行いました。終わったあとは、アートふるの備品確認を行い、アートふるの関係者の方手作りのカレーを食べました。

●9月10日・・・おもしろプロジェクトプレ

実際に博物館を訪問し、当日の流れや所連絡等について、担当の方と打ち合わせをしました。バスを降りる場所や、荷物置場、実際に博物館を回ってみてどれくらい時間がかかるのかミニ館内授業についてなどプレを行い、気づけていなかった小さなことまで気づくことができました。本番は、子どもたちにケガのないよう安全に気を配りながら、楽しんでもらおうということになりました。

●9月14日・・・結人祭

山口大学のよさこいやっさんが開催した商店街でのイベントに参加しました。めだかの学校は団体紹介を貼り、折り紙教室を行いました。当日は、子どもがあまり来なかったため、折り紙教室が子どもたちでにぎわうということはあまりありませんでしたが、きてきださった方の笑顔や、めだかの学校について興味をもってくださっている様子はとても嬉しかったです。年に2回開催されるそうなので、今後も参加できれば良いなと思っています。

●9月15日・・・リバーナイト

一の坂川沿いでリバーナイトの点灯のお手伝いを行いました。去年は雨が降ってしまい残念ながら中止になってしまったのですが、今回は晴れました。夜が深まっていくにつれて、竹灯籠の中のキャンドルに灯りがともされていく様子はとても幻想的でした。翌日は、竹灯籠の回収作業にも参加しました。



一の坂川清掃活動



結人祭

1-3 平川小学校の子どもたちを対象としたもの

●9月28日・・・おもしろプロジェクト（博物館イベント）

博物館イベントのチラシを平川小学校に配布し、その日のうちに定員20名が集まりました。めだかの学校のイ

ベントに毎回参加してくれる子どもたちもいる中、初めて参加するという子どもたちが多かったことに驚きました。子どもたちの学年を見てみると、1年生5人、2年生6人、3年生4人、4年生1人、5年生2人、6年生2人と、低学年が多い結果となりました。バスは時間通りに出発することができ、化石サンプル作りも博物館ウオークラリーも子どもたちはとても楽しそうでした。どの学年にも難しすぎることはなく、どの学年でも楽しむことのできる活動内容であったように感じます。イベント終了後、子どもたちにアンケートを行ったところ、「また参加してみたいですか？」という欄が全員「はい」であったため、子どもたちにとって満足のできるイベントとなったのではないかと思います。

反省点としては、バスに忘れ物があつたことに気付くことができなかったことです。保護者の方からの連絡で判明し、今回はバスの中にあつたのですが、忘れ物がないか、施設を出るときやバスから降りるときにきちんと確認したいと思います。



おもしろプロジェクト（博物館イベント）

●10月10日・・・チャレンジ教室（萩往還）

子どもたちと共に萩往還を歩きました。学年によって体力が違うため、子どもたちの中でペースに差がありました。高学年には余裕で歩くことができる距離でも、低学年（特に1年生）にはとてもきつい距離であったように思います。8時から14時の予定でしたが、上記のことがあり萩往還目的地に全員が到着したのは15時でした。高学年、低学年でスタート場所を変えるなど工夫があつたほうが良いのではないだろうかと思ひます。

●10月19日・・・子どもイベント（ハロウィンカード作り）

飛び出すハロウィンカードを作りました。子どもたちが想像しやすいようにお手本を置いていましたが、その通りに作ってしまう子どもたちが多くいて、どうしたら子どもオリジナルの作品を作ってもらえるのだろうか毎回思ひます。カードを作り終えた後は、「トリック、オア、トリート」と子どもたちに言ってもらいお菓子を渡しました。子どもたちの嬉しそうな顔を見ると、こちらまで嬉しくなりました。

●11月2日・・・チャレンジ教室（芋ほり）

平川小学校近くの畑で、5月に植えた芋を掘りました。昨年もそうだったのですが、土が固いためスコップではないと芋を掘り起こせませんでした。スコップを使うと芋が傷ついてしまうため、持て帰ることができない芋も多く出てしまいました。芋ほりの後は、芋を濡れた新聞紙にくるみ、アルミホイルにくるみ、もみがらを用いたたき火で焼き、みんなで食べました。

●12月7日・・・チャレンジ教室（キャンドル作り）

山陽小野田のきららガラス未来館の方が来てくださり、ジェルキャンドル作りを行いました。色とりどりの砂をガラスコップに入れ、小さなガラスの置物を入れ、熱いろうを流します。きらきらした素敵なキャンドルがたくさんでき、私も思わず作りたくなりました。普段行えないような内容だったので、子どもたちがすごく集中していました。

●12月15日・・・子どもイベント（くつした作り）

画用紙で大きなくつしたを作りました。子どもたちは、思い思いの飾り付けをして、楽しみました。時間が余った子はクリスマスツリーに飾るオーナメントも作り、クリスマスが来るのが待ちきれない様子でした。全員がクリスマスのくつしたを作り終わった後に、くつしたの中にお菓子を入れて、プチプレゼントとして渡すとて



チャレンジ教室（芋ほり）



チャレンジ教室（キャンドル作り）

も喜んでくれました。今回、おもしろプロジェクトの費用で購入したクラフトパンチが子どもたちにすごく人気で購入して良かったと思います。

●12月22日・・・しめ縄作り

平川小学校で子ども会主催のしめ縄作りが行われました。体育館にスタッフの方30名、子ども50名、めだかの学校からは10名が参加し、指導してくださる老人会の方とともに作りました。わらをねじりながら、編み込んでいく作業がとても難しく、なかなかうまくできませんでしたが、最終的には1人1つ以上のしめ縄を持つことができました。地域の方との関わり、子どもたち同士の関わりが身近で見られた良いイベントでした。

●1月11日・・・どんど焼き

平川小学校で、どんど焼きを行いました。この行事は、平川地域教育育成部会の管轄で行われているものだと、教育育成部会の会議に出て知りました。地域の行事を行う際に、PTAの方や、小学校・中学校の教頭先生、子ども会の会長さんなど多くの方が集まり、企画を練っていくのだなと会議に出て実感しました。当日は、めだかの学校はしめ縄についている針金などの燃やせないものを取り除く作業を行いました。子どもや地域の方がたくさんしめ縄を持ってきて下さり、作業が大変でしたが人との会話がとても楽しかったです。

●1月18日・・・チャレンジ教室（凧作り）

老人会の方に来ていただき、和紙で凧を作りました。子どもたちには少し難しかったようで、ほとんど大学生が手伝ってしまいました。低学年には高度な作業だったのかなと思いました。凧に絵を書く時間も少なく、子どもが何に力を入れたいのか、どのくらいのことならできるのかをもっと研究しなければいけないなと思いました。

●2月11日・・・子どもイベント（スライム作り）

ミニジャンボリーに向けて、一度子ども相手にやってみようと子どもイベントでスライム作りを行いました。25人の子どもたちとスライムを作り、どの子も失敗なく作ることができました。人気の色は青や黄色で、ピンクは思ったよりも人気がなかったです。子どもたちは1人2つのスライムをお土産として持って帰り、とてもうれしそうにしていました。

1-4 平川地域以外の行事

●2月16日・・・ミニジャンボリー

阿知須のきらら浜で、ミニジャンボリーが行われ、めだかの学校はスライム作りを行いました。500人分の材料を用意して、朝10時30分から受付を行いました。多くの子どもたちが押し寄せて、長蛇の列ができ、あっという間に500人分の材料がなくなってしまいました。お昼の休憩をとることも忘れ、ひたすら子どもたちにスライムを作ってもらい、終わるころには部員全員がヘトヘトでした。中学生くらいの女の子の集団が、ブースに来てくれ、将来は山口大学に行きたい、このサークルに入りたいと話してくれたのがとてもうれしかったです。

2. まとめ

今回はめだかの学校を、おもしろプロジェクトに採択していただきありがとうございました。

今までにない活動を行うことができ、多くの学びを得ることができました。子どもたちが何に興味を持っているのか、地域の行事はどのように進められているのか、地域に大学生が入るということはどんな効果を生み出すのかなど、平川地域の会議に出ながら、地域との連携はとても素晴らしいものであると実感しました。平川地域の方から、めだかの学校を応援すると言われたときは本当に嬉しかったです。

平成26年度も、新たな活動を企画しています。これからも、地域・小学校・大学を結びつける架け橋になればいいなと思います。